

阿蘇の草原にPRにむけて

公益財団法人 阿蘇グリーンストック
専務理事 増井太樹

広報とPRの違い

⇒ 広報

広く社会に対して、報ずる（知らせる）という意味
企業や団体が社会に向けて“情報発信する”ことが「広報」

⇒ PR（パブリックリレーションズ）

戦略的コミュニケーションのプロセス
状況分析、目標設定、戦略立案、実践、効果測定
を行うことが重要

阿蘇の草原のPRについて

草原のPRについて

- ・熊本県
- ・環境省
- ・阿蘇グリーンストック
- ・PR会社

の4者で月1回程度集まり 具体的な実施事項を決定

日本一の面積を誇る、悠久の宝“阿蘇の草原”とともに考える 企業の成長と環境保全の両立とは

企業が環境保全に 取り組む意義

環境保全に取り組む意義は、企業にとって重要な課題の一つです。環境問題は、企業の持続的な成長と密接に関連しています。環境保全に取り組むことで、企業の社会的責任を果たし、消費者からの信頼を得ることが期待できます。

また、環境保全は、企業のリスク管理にもつながります。環境規制の強化や、気候変動の影響は、企業の経営に大きな影響を及ぼす可能性があります。環境保全に取り組むことで、これらのリスクを軽減し、企業の持続性を確保することができます。

さらに、環境保全は、企業の競争力向上にもつながります。環境に優しい製品やサービスを提供することで、消費者からの支持を得ることができ、企業の成長を促進することができます。

世界的に 高まる 環境意識

世界的に環境意識が高まるにつれて、企業も環境保全に取り組むことが求められています。消費者は、環境に優しい製品やサービスを選ぶ傾向が強まっています。また、投資家も環境問題に関心をもち、企業の環境パフォーマンスを評価するようになりました。

このような環境意識の高まりは、企業にとって大きなチャンスでもあります。環境保全に取り組むことで、企業のイメージを向上させ、新たな市場を開拓することができます。

また、環境意識の高まりは、企業のイノベーションを促進する要因にもなります。環境問題の解決には、新たな技術やサービスが必要となります。環境保全に取り組むことで、企業のイノベーションを促進し、成長を加速させることができます。

阿蘇草原を 守る 企業の輪

阿蘇草原は、熊本県を代表する自然遺産です。草原は、多くの動植物の生息地であり、生態系を維持するために重要な役割を果たしています。しかし、近年は気候変動や土地利用の変化により、草原の面積が減少しています。

阿蘇草原を守るためには、企業も責任を担う必要があります。企業は、自社の活動が草原に与える影響を評価し、環境保全に取り組むことが求められています。また、地域社会と連携し、草原の保全活動を支援することも重要です。

阿蘇草原を守る企業の輪が広がれば、草原の保全は実現できます。企業は、自社の活動を通じて草原の保全に貢献し、持続可能な社会の実現に努めるべきです。

阿蘇草原の保全は、地域社会の発展にもつながります。草原は、観光資源としても重要な役割を果たしています。草原を保全することで、地域の観光産業を活性化し、地域経済を成長させることができます。

また、草原の保全は、地域社会の文化遺産の継承にもつながります。草原は、多くの伝統的な行事や祭りの舞台となっています。草原を保全することで、地域の文化遺産を守り、地域社会の発展に貢献することができます。

阿蘇草原を守る企業の輪が広がれば、草原の保全は実現できます。企業は、自社の活動を通じて草原の保全に貢献し、持続可能な社会の実現に努めるべきです。

阿蘇草原の保全は、地域社会の発展にもつながります。草原は、観光資源としても重要な役割を果たしています。草原を保全することで、地域の観光産業を活性化し、地域経済を成長させることができます。

また、草原の保全は、地域社会の文化遺産の継承にもつながります。草原は、多くの伝統的な行事や祭りの舞台となっています。草原を保全することで、地域の文化遺産を守り、地域社会の発展に貢献することができます。

阿蘇草原を守る企業の輪が広がれば、草原の保全は実現できます。企業は、自社の活動を通じて草原の保全に貢献し、持続可能な社会の実現に努めるべきです。

阿蘇草原の保全は、地域社会の発展にもつながります。草原は、観光資源としても重要な役割を果たしています。草原を保全することで、地域の観光産業を活性化し、地域経済を成長させることができます。

また、草原の保全は、地域社会の文化遺産の継承にもつながります。草原は、多くの伝統的な行事や祭りの舞台となっています。草原を保全することで、地域の文化遺産を守り、地域社会の発展に貢献することができます。

阿蘇草原を守る企業の輪が広がれば、草原の保全は実現できます。企業は、自社の活動を通じて草原の保全に貢献し、持続可能な社会の実現に努めるべきです。

阿蘇草原の保全は、地域社会の発展にもつながります。草原は、観光資源としても重要な役割を果たしています。草原を保全することで、地域の観光産業を活性化し、地域経済を成長させることができます。

また、草原の保全は、地域社会の文化遺産の継承にもつながります。草原は、多くの伝統的な行事や祭りの舞台となっています。草原を保全することで、地域の文化遺産を守り、地域社会の発展に貢献することができます。

阿蘇草原を守る企業の輪が広がれば、草原の保全は実現できます。企業は、自社の活動を通じて草原の保全に貢献し、持続可能な社会の実現に努めるべきです。

阿蘇草原の保全は、地域社会の発展にもつながります。草原は、観光資源としても重要な役割を果たしています。草原を保全することで、地域の観光産業を活性化し、地域経済を成長させることができます。

また、草原の保全は、地域社会の文化遺産の継承にもつながります。草原は、多くの伝統的な行事や祭りの舞台となっています。草原を保全することで、地域の文化遺産を守り、地域社会の発展に貢献することができます。

阿蘇草原を守る企業の輪が広がれば、草原の保全は実現できます。企業は、自社の活動を通じて草原の保全に貢献し、持続可能な社会の実現に努めるべきです。

阿蘇草原の保全は、地域社会の発展にもつながります。草原は、観光資源としても重要な役割を果たしています。草原を保全することで、地域の観光産業を活性化し、地域経済を成長させることができます。

また、草原の保全は、地域社会の文化遺産の継承にもつながります。草原は、多くの伝統的な行事や祭りの舞台となっています。草原を保全することで、地域の文化遺産を守り、地域社会の発展に貢献することができます。

阿蘇草原を守る企業の輪が広がれば、草原の保全は実現できます。企業は、自社の活動を通じて草原の保全に貢献し、持続可能な社会の実現に努めるべきです。

阿蘇草原の保全は、地域社会の発展にもつながります。草原は、観光資源としても重要な役割を果たしています。草原を保全することで、地域の観光産業を活性化し、地域経済を成長させることができます。

また、草原の保全は、地域社会の文化遺産の継承にもつながります。草原は、多くの伝統的な行事や祭りの舞台となっています。草原を保全することで、地域の文化遺産を守り、地域社会の発展に貢献することができます。

阿蘇草原を守る企業の輪が広がれば、草原の保全は実現できます。企業は、自社の活動を通じて草原の保全に貢献し、持続可能な社会の実現に努めるべきです。

阿蘇草原の保全は、地域社会の発展にもつながります。草原は、観光資源としても重要な役割を果たしています。草原を保全することで、地域の観光産業を活性化し、地域経済を成長させることができます。

また、草原の保全は、地域社会の文化遺産の継承にもつながります。草原は、多くの伝統的な行事や祭りの舞台となっています。草原を保全することで、地域の文化遺産を守り、地域社会の発展に貢献することができます。

阿蘇草原を守る企業の輪が広がれば、草原の保全は実現できます。企業は、自社の活動を通じて草原の保全に貢献し、持続可能な社会の実現に努めるべきです。

阿蘇草原の保全は、地域社会の発展にもつながります。草原は、観光資源としても重要な役割を果たしています。草原を保全することで、地域の観光産業を活性化し、地域経済を成長させることができます。

また、草原の保全は、地域社会の文化遺産の継承にもつながります。草原は、多くの伝統的な行事や祭りの舞台となっています。草原を保全することで、地域の文化遺産を守り、地域社会の発展に貢献することができます。

阿蘇草原を守る企業の輪が広がれば、草原の保全は実現できます。企業は、自社の活動を通じて草原の保全に貢献し、持続可能な社会の実現に努めるべきです。

阿蘇草原の保全は、地域社会の発展にもつながります。草原は、観光資源としても重要な役割を果たしています。草原を保全することで、地域の観光産業を活性化し、地域経済を成長させることができます。

また、草原の保全は、地域社会の文化遺産の継承にもつながります。草原は、多くの伝統的な行事や祭りの舞台となっています。草原を保全することで、地域の文化遺産を守り、地域社会の発展に貢献することができます。

阿蘇草原を守る企業の輪が広がれば、草原の保全は実現できます。企業は、自社の活動を通じて草原の保全に貢献し、持続可能な社会の実現に努めるべきです。

阿蘇草原の保全は、地域社会の発展にもつながります。草原は、観光資源としても重要な役割を果たしています。草原を保全することで、地域の観光産業を活性化し、地域経済を成長させることができます。

また、草原の保全は、地域社会の文化遺産の継承にもつながります。草原は、多くの伝統的な行事や祭りの舞台となっています。草原を保全することで、地域の文化遺産を守り、地域社会の発展に貢献することができます。

阿蘇草原を守る企業の輪が広がれば、草原の保全は実現できます。企業は、自社の活動を通じて草原の保全に貢献し、持続可能な社会の実現に努めるべきです。

地元経済誌に2024年1月掲載予定

※これまでは各自バラバラにPRを実施していた…

一貫したストーリーで「草原とは」を認知・シェア
寄付額の倍増を最終目的とする

認知の
対象

B to B

目指すべき姿

草原のストーリーに共感し、
共鳴するボランティアや寄附企業などの関係人口を増やす

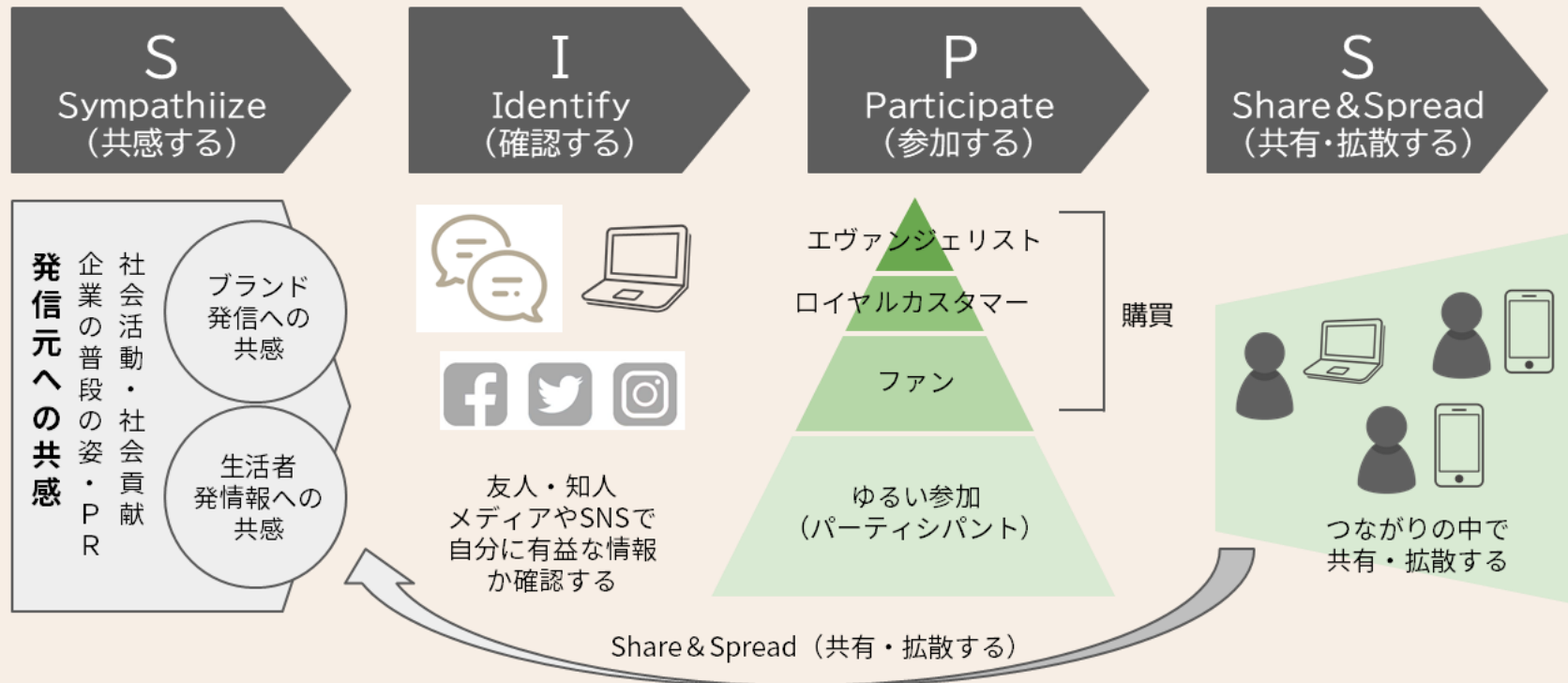
KPI

- News性の高いコンテンツ数
 - メディア露出数
- ハッシュタグ「#草原」数

KGI

- ボランティア人数の増加
- 寄付額の増加

阿蘇の草原のPRについて



| | | | |
|------------------------|------------------------------|------------|----------|
| ブランド戦略 (CI/VI/タグライン制作) | 参加・体験機会の創出 (アクティビティ・寄附・食・購入) | | |
| PR戦略 (草原Trip/メディア) | SNS運用・整備 | | |
| 動画編集 | サイト制作 | LINEシステム導入 | 参加型の制度設定 |

戦略を立て、それをもとに実行

対個人向けPR施策

阿蘇草原再生
プロジェクト



Just join us.

未来へつなぐ、野と火の営み。

ターゲット層が草原再生関連の検索をかけた際の
入り口になるサイトを構築

SNSやHPを用いた、ユーザーの興味軸に合わせた草原とのタッチポイントを創造。

草原と“暮らし”

ブランディングディレクター・行方ひさこさんが
草原を知り・感じ・作っていく、ストーリー仕立ての文化人ツアーを開催
ファン層であるライフスタイルへ関心のあるユーザーの共感を創造。

スケジュール

10月：草原を知る
千年の草原記念フォーラムで
草原学者と対談
11月：かやでものづくり
阿蘇のかやぶき工房へ訪問、
かやのものづくり体験
3月：野焼き・ブラックBBQ

招聘予定

| | |
|-------------------------|---------------------------|
| 行方ひさこ氏 | ブランディングディレクター |
| 野村ゆり氏 | フードディレクター |
| 平井かずみ氏 | フラワースタylist |
| 石井花苗氏 | インテリアスタイリスト |
| 石上純也氏 | 建築 |
| 相澤陽介氏 | White Mountaineeringデザイナー |
| 小山薫堂氏 | 放送作家、脚本家 |
| おおはた雄一氏 | シンガーソングライター |
| 今中大輔氏 | サイクリスト |
| 森本幸司氏 | トレイルランニング日本代表 |
| 前田有紀氏 | フラワーアーティスト |



対企業向けPR施策

寄付への意味づけ、なぜ必要なのかを整理

草原を守りましょう・守らないといけない（対企業）

| 脱炭素 | 生物多様性 | 水 | 文化 |
|--|---|--|---|
| 野焼きにまつわる事業を選定 | 阿蘇の希少種にまつわる事業を選定 | 草原保全にまつわる事業を選定 | 調査及び阿蘇の草原文化広報にまつわる事業を選定 |
| 野焼き・輪地切り支援 ボランティア活動管理運営事業 (阿蘇グリーンストック) | 阿蘇北外輪山に生息する 希少種コジュリンの 生息環境要因に関する研究 (坂梨 仁彦) | 草原環境学習の推進・草原を守る 担い手づくり (内牧小と新宮牧野組合の 草泊りづくり) | 阿蘇北外輪山の 古代遺跡調査 (阿蘇ホテルの会) |
| 草原維持管理の為の 牧道防火帯整備 (車帰原野管理組合) | | 若手農業者の 草原保全維持活動支援 | 阿蘇の草原と草原堆肥をPRする 農業体験イベントの開催 (阿蘇草原再生シールの会) |
| | | 活動拡充に向けた 担当職員の育成 | 草原環境学習の推進及び 広報活動 (黒川牧野坊中区) |
| | | | 令和4年度 「阿蘇の草原キッズになろう」 (国立阿蘇青少年交流の家) |
| | | | 農業文化 あか牛導入助 成の上乗せ |
| | | | 繁殖あか牛導 入助成事業 (28農家・45 頭) |
| | | | 子どもたちの 草原環境学習支援、 普及啓発への活用 |

阿蘇の草原を守る活動にご支援ください

30年後、
この美しい草原は
なくなるかもしれ
ない。

日本一の面積を誇る「悠久の宮」阿蘇の草原は、さまざまな動植物を育むだけでなく、水源涵養や風景の固定機能など、重要な役割があり、千年以上の歴史、放牧や野焼きなど地元の人々の営業により維持されてきました。しかし、現在は野焼きの回数が不足が懸念されており、約30年後には今よりもさらに草原が減少すると予測されています。阿蘇の最大の草原を守り伝えるために、今、あなたの助けが必要です。

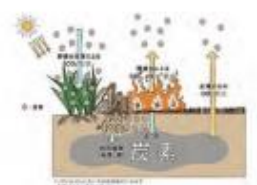


阿蘇の草原の「恵み」とは？

阿蘇の草原の恵みについての詳細はこちらをご覧ください



脱炭素



野焼きによる炭や植物の根として地中に炭素を蓄積、地球温暖化防止に貢献します。

生物多様性



国土の1%以下しかない草原は「チョウの楽園」などとも言われる多様な生き物のすみか。ネイチャーポジティブにも貢献します。

水



草原は優れた水源涵養機能を有し、「九州の水がめ」として広く流域のくらし・産業を支えています。

阿蘇の草原を守ることは、私たちの未来を守ることに繋がります

草原を守る活動へのご支援の詳細は、裏面をご覧ください▶

例えば
100万円の寄附金が集まると

東京ドーム約14個分

63haの草原を1年間
守ることができます

63haの草原が与えてくれる恵み

年間CO2吸収量
150世帯分

年間水道使用量
100人分

具体的にわかる費用例
野焼き、雑草切りに関する作業費 1haあたり5千円
恒久的な防火帯の整備費 1haあたり7千円

お寄せいただいた寄附金の使い道

お寄せいただいた寄附金は、草原を守るための様々な事業に活用されます

支援の種類 寄附の使途

阿蘇草原再生募金

(阿蘇草原再生協議会)



繁殖あか牛の導入支援/環境教育の実施

VIEW MORE

公益財団法人阿蘇グリーントック

(税制優遇(寄附金控除)あり)



野焼き支援ボランティアへの支援(活動経費・道具の購入)

VIEW MORE

熊本県企業版ふるさと納税

(税制優遇(寄附金控除)あり)



野焼きの再開支援/野焼きの後継者育成/防火帯の整備など

VIEW MORE

その他の寄附の方法として、「阿蘇世界農業遺産推進委員会」や阿蘇市の「ASO環境共生基金」への寄附などがあります。

支援の方法

直接寄附以外にも、草原を守る活動への関わりは、様々な方法があります

協賛商品等による連携



寄附者自らが協賛品や協賛商品の売り上げに還元した寄附なども可能です。

資源を活用した商品・サービスの開発



草原やあか牛を活用したビジネスを展開しただけでなく、草原を守る力となり、地産地消等も対応いたしますので、ご検討ください。

環境保全のための取り組み



ボランティア参加や研修、その他教育費、30x30、ネイチャーポジティブに取り組みたいなどのご要望があれば、様々な取り組みのご提案も可能です。まずはご連絡ください。

熊本県では、草原を守るためにボランティア活動や寄附・募金を行う団体を、阿蘇草原応援企業サポーターとして認定しています。ご賛同企業の一覧や、制度の詳細などはこちらからご確認ください

守ろう、未来の美しい草原。あなたの支援で次の千年へ。

お問い合わせ・ご質問等お気軽にご連絡ください

詳しくはこちらのQRから!
http://www.asogreentock.com/

公益財団法人阿蘇グリーントック
0967-32-3500 green-s@aso.ne.jp

制作 | 環境省阿蘇くじゅう国立公園管理事務所、熊本県地域振興課、公益財団法人阿蘇グリーントック

県も企業連携を後押し 現在35社が登録

みんなで守ろう！

阿蘇草原応援 企業サポーター 認証制度



認定されると
こんなメリットがあります

- 01 草原保全に関わる費用が支援されます。(上限 15 万円)
- 02 熊本県ホームページや県が運営する SNS 等の広報媒体に御社名や取り組みが掲載されます。
- 03 阿蘇草原応援企業 サポーターロゴマークを企業・団体のホームページや名刺などに使用できます。
- 04 熊本県 SDGs 登録制度の「SDGs 達成に向けた取り組みチェックリスト」の項目を満たします。
※「30 緑の保全」、「43 地域への参画」
※熊本県 SDGs 登録事業者に登録された建設業者は
技術事項評価項目で加点される予定です。

サポーター認定されるためには？

詳しくは P.7 をご確認ください



Interview

阿蘇草原応援
企業サポーター

01



KM バイオロジクス株式会社
代表取締役社長

永里 敏秋様



昔から身近にあった野焼きと、
社員の地域の役に立ちたいという気持ち

KMバイオロジクスの社員が50名以上野焼き支援ボランティアに参加

4月：明治ホールディングス 専務執行役員へのプレゼン

6月：明治ホールディングス 社外取締役へのプレゼン

7月：KMバイオロジクスの社員向けセミナー

8月：初心者研修会の実施

11月：草原フェスティバルでの野菜の販売

健康にアイデアを

kmb

KMバイオロジクス株式会社

1社1社の社会課題や、企業理念に
寄り添いながら関係性を深めていく必要
※ただ単に、お金くれでは納得いただけない



阿蘇の草原のPRについて

知り合いを通じて
7月に初めて会う

その後、福岡や
熊本で4回ほど意見交換

阿蘇のボランティアにも
参加いただく

企画のコンセプトを
共有し、ともに作る



阿蘇の草原のPRについて



なぜ、こんなことができるのか？



面白いことを提案する
一緒にワクワクする

共感の輪を広げていく

阿蘇あか牛ビーフシチュー定食

提供予定日 1月12日 金曜日

食数 約200食程度予定

金額 通常の定食と同金額 530円

熊本 NEWS WEB

◀ 熊本

阿蘇を走るトレイルランニング 主催者が草原を守る募金に寄付

05月09日 16時16分



阿蘇の山道およそ100キロを走る「トレイルランニング」の大会が行われるのを前に、大会の主催者が参加費の一部を阿蘇の草原を守るための募金に寄付しました。

阿蘇市や阿蘇郡の観光協会などでつくる「ASO FIELDS RUNNING 実行委員会」は、

今月13日から2日間、阿蘇市から南阿蘇村にかけておよそ100kmの山道を走る「トレイルランニング」の大会を行います。

大会を前に、その参加費の一部が草原を守るための「阿蘇草原再生募金」に寄付されることになり、実行委員会の稲吉淳一委員長が9日、募金を管理する団体、「阿蘇グリーンストック」を訪れ84万3000円の目録を手渡しました。

寄付金は草原維持に欠かせない「野焼き」の担い手不足を補う活動などに充てられる予定だということです。



- カルデラ100kmを走るトレラン
- 草原の中も走ることができる
- エントリー枠に草原寄付エントリー等あり、走ることで草原保全に
- 2022年は約84万円の寄付

ツールド九州との連携



- 草原の中を通るルート
- 大会当日にグリーンストックのボランティア150人が協力
- 有料観覧席の売上の一部を草原再生募金に寄付



[タイトルなし]

概要 応援コメント

このプロジェクトの概要

- ✓ 荒廃が進む杵島岳の登山道整備を行います
- ✓ 杵島岳周辺で藪（やぶ）となってしまった元草原の再生活動を行います
- ✓ クレジットカード（一口：300円～）または3,000 DOMOで本プロジェクトを支援できます

支援総額

917,380円

目標金額 660,000円

138%

支援者

21,325人

残り

終了

支援はアプリでのみご利用いただけます。支援に関する質問は[ヘルプセンター](#)をご確認ください。

YAMAPのサイト内にて
環境省、阿蘇Be隊とともにクラファンを実施

今後の課題

- ・ 継続して検討を進めていくための場づくり
- ・ 継続してPRするための予算
- ・ 企業とコミュニケーションをとるための人員、時間の確保
- ・ より効果的な寄付金集めの仕組み（国・県）

A landscape featuring rolling hills in the background and a vast field of golden-brown grass in the foreground. The hills are covered in sparse vegetation and have a reddish-brown hue. The sky is a pale, clear blue.

ご清聴ありがとうございました

**引き続き草原のPRについて
取り組んでいきます。**